

白朮 ATRACTYIODES RHIZOMA、蒼朮 ATRACTYIODES LANCEAE RHIZOMA

(基原)¹⁾

科名：Compositae キク科

白朮：オケラ *Atractyiodes japonica* Koidzumi ex Kitamura (ワビャクジュツ)
又はオオバナオケラ *Atractyiodes ovata* De Candoll (カラビャクジュツ)
の根茎である。

蒼朮：ホソバオケラ *Atractylodes lancea* De Candolle 又は *Atractylodes chinensis* Koidzumi (*Atractylodes lancea* De Candolle var. *chinensis* Kitamura) の根茎である。(1961年日本薬局方第7改正より収載)

来歴：①6世紀以前は白朮、蒼朮(赤朮)も同一植物の「朮(カラビャクジュツ)」であった。

②文献上白朮と蒼朮の区別は『本草集注(陶弘景著)』からである。

白朮：葉は大きく、羽状をなし、根は甘く、油分が少ないので丸散料に良い。

赤朮：葉は細く、羽裂せず。根はやや苦くて油分が多いので煎用料に良い。

③朝鮮、日本ではカラビャクジュツが存在しないため、オケラを代用。

白朮→オケラの肥大した油分の少ない部分。

蒼朮→オケラの老成した油分の多い部分。

(現在日本の蒼朮はホソバオケラ、韓国の蒼朮はオケラ)

名称の由来²⁾：①ユーカリの葉から β -eudesmolが発見され、ユーカリのラテン名がeucalyptusなのでeudesmolと命名。

②コダチソウジュツ(古立蒼朮)は「古くなると粉が立つ」と言う語源から

③オケラの古名はウケラ。「我が背子を ^朮あどかも言はむ 武蔵野の うけらが 花の時なきものを(万葉集)」

(性状)¹⁾

ワビヤクジュツ：本品の周皮を除いたものは不整塊状又は不規則に屈曲した円柱状、長さ3～8cm、径2～3cm、外面は淡灰黄色～淡黄白色、灰褐色である。周皮を付けているものは外面灰褐色、しばしば結節状に隆起し、あらいしわがある。

折りにくく、折面は繊維性、横切面には淡黄褐色～褐色の分泌物による細点がある。本品は特異なおいがあり、味はわずかに苦い（蒼朮より苦い）。

カラビヤクジュツ：本品は不整に肥大した塊状を呈し、長さ4～8cm、径2～5cm、外面は灰黄色、暗褐色、ところどころにこぶ状の小突起がある。折りにくく破砕面は淡褐色～暗褐色、木部の繊維性が著しい。

ホソバオケラ：本品は不規則に屈曲した円柱形を呈し、長さ3～10cm、径1～2.5cm、外面は暗灰褐色～暗黄褐色である。横断面はほぼ円形で、淡褐色～赤褐色の分泌物による細点を認める。しばしば白色綿状の結晶を析出する。特異な臭いがあり、味はわずかに苦い。

(産地)^{1) 5)}

和白朮：過去に玉白朮、三好白朮、嫩根（わかね）白朮と呼ばれた日本産は市場性がなく、北朝鮮、韓国。約350トン輸入(1991年)

古立蒼朮：主に湖北、湖南省。約275トン輸入(1991年)

東医研：白朮は韓国江原道、蒼朮は湖北省の古立蒼朮

(品質)^{4) 12)}

①白朮 良品：比較的根の周囲が白くて軟らかいもの。精油含量約1.5～3.0%。

劣品：根の堅いもの。古くなって褐色になったもの。

②蒼朮 良品：冷温保存時切断面に白い粉がふくもの。精油含量約3.5～7%。

劣品：切断面の粉のふきが悪く、暗褐色のもの。

(成分) ⁵⁾

< 和白朮 >

① セスキテルペノイド : atractylon, atractylenoide I, II, III など

② asetoaldehyde

③ ポリアセチレン化合物

④ 水溶性成分 : attractan A, B, C

< 唐白朮 >

① 和白朮のセスキテルペノイド以外に8β-ethoxy-asterolid, γ-cadinene などを含む。

② ポリアセチレン化合物の構造もやや異なる。

・ 蒼朮

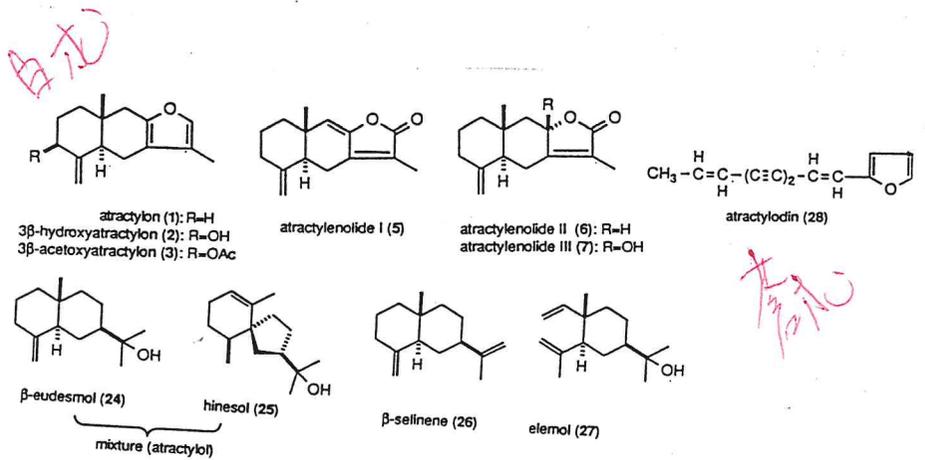
① β-eudesmol, hinesol

② ポリアセチレン化合物 atractylodin

朮の分類 ^{2) 5)}

	オケラ ^{70x72mm}	オオハナオケラ	ホリハナオケラ	シナオケラ	ナンマンオケラ
学名	A. japonica	A. ovata	A. lancea	A. lancea var -chinencis	A. lancea var -simplicifolia
中国名称	蒼朮 ^{使剤なし}	白朮	南蒼朮 茅蒼朮	北蒼朮 西北蒼朮	全葉蒼朮 津蒼朮
日本名称	白朮	唐白朮	古立蒼朮	津蒼朮	東北大個朮
産地	中国東北部 朝鮮半島	浙江省 安徽省 湖南省 四川省	華中の江蘇 湖北省 湖南省 日本の佐渡: サトノオケラ	華北の内モンゴ 河北省 山東省 吉林省	華北地方 東北地方
主要成分	attractylon	attractylon 8β-ethoxy- asterolid	β-eudesmol hinesol attractylodin	β-eudesmol hinesol attractylodin (attractylon)	attractylon β-eudesmol hinesol attractylodin ^{attractylodin}

< 構造式 > 5)



(現代薬理)

< 利尿作用 >

白朮：①エタノールエキスはマウス腹腔内投与で軽度の利尿作用

②ラット、ウサギ、イヌにおいて持続的な利尿作用を示し、尿量だけでなくナトリウムの排泄も増加させたが、人に対する利尿効果は確定できていない。

蒼朮：水あるいは生理食塩液負荷のマウス、ラットにおいて利尿作用は認められなかった。

< 中枢作用 >

白朮：明らかな中枢抑制作用は認められなかった。

蒼朮：β-オイゲスモールとヒネソールには一般行動、自動運動、抗電撃痙攣、ヘキソバルビタール睡眠延長などの検定によって、中枢抑制効果が見られた。

< 抗消化性潰瘍作用 >

白朮：A. ovata、A. japonicaのエタノールエキスは水浸拘束ストレス潰瘍のみ発生を強く抑制した。しかし幽門結紮潰瘍、アスピリン潰瘍、ヒスタミン潰瘍セロトニン潰瘍には効果が見られない。

蒼朮：①古立蒼朮は幽門結紮潰瘍、アスピリン潰瘍、ヒスタミン潰瘍、水浸拘束ストレス、酢酸潰瘍に効果が見られた。

②西北蒼朮は幽門結紮潰瘍、アスピリン潰瘍、セロトニン潰瘍、水浸拘束ストレス、酢酸潰瘍に効果が見られた。

③β-オイゲスモールにはH₂-レセプター拮抗作用があるため、抗ヒスタミン性に胃酸を抑制し、抗潰瘍作用を示す物と思われる（胃内停水に作用）。

④西北蒼朮はセロトニン潰瘍に対して顕著な抑制効果が見られた。またステロイドによる胃液分泌を抑制するため、炮附子による胃液分泌更新、

腺胃部障害などを抑制する（附子の胃に対する副作用軽減：附子剤には、蒼朮を含む方剤が多い）。

<抗炎症作用>

白朮：①atractylenolideに顕著な抗炎症活性が見出された。これらは肉芽抑制作用は認められたがカラゲニン足浮腫抑制作用は認められなかった。

②水製エキスはラットのアジュバンド関節炎を抑制。

蒼朮：蒼朮単独では顕著な抗炎症作用は認められないが、麻黄と煎じたエキスには相乗的な抑制作用がある

<血糖降下作用>

白朮：水溶性成分atractanA、B、Cはマウスに対し顕著な血糖降下作用が見られた。

蒼朮：明確な血糖降下作用は報告されていない。

<肝障害抑制作用>

白朮：atractylonはマウスの四塩化炭素肝障害において過酸化脂質の生成および肝障害を抑制した。

蒼朮：蒼朮は活性を示さなかった。

<抗菌作用>

白朮、蒼朮には加熱時、furfural、acetaldehydeが発生し、これが殺菌性を現すものと考えられる。

<血液凝固抑制作用>

白朮：煎液はウロキナーゼによる線溶活性を軽度亢進。

<インターフェロンインデューサー作用>

白朮：ヒトの非特異的防御機構に参与している可能性が示唆されている。

<抗腫瘍作用>

白朮：A. ovataには直接的に腫瘍細胞を傷害するのではなく、腫瘍免疫を賦活させる作用がある。

（古典的薬能・薬効）

①神農本草経⁶⁾：上品に収載

朮。一名山薊。味苦温。生山谷。治風寒瘧痺死肌。瘧。疸。止汗除熱。消食。作煎餌。久服輕身延年不飢。

②薬徴⁷⁾

朮：主利水也 故能治小便自利不利 旁治身煩疼 痰飲 失精、眩冒 下利
喜唾

品考：華産兩種 其利水也蒼勝於白 故余取蒼朮也 本邦所出 其品下而功劣也

③新古方薬囊⁸⁾

朮：水氣の病、小便不調の病、胃腸の病、筋や骨の痛む病

④中医学⁹⁾

唐白朮：味甘微苦、性温、微香、帰経（脾胃）、補脾益氣・燥湿利水

蒼朮：味苦辛、性温、帰経（脾胃）、燥湿健脾・祛風湿

⑤民間応用

梅雨時の湿気払いやカビ防止に蒼朮の根を炊いた。

「蒼朮をたかぬ其の日に梅を干し(江戸川柳)」

(該当方剂)¹⁰⁾

白朮：胃風湯	胃苓湯	温経湯	茵陳五苓散料
藿香正気散料	加味帰脾湯	玉屏風散料	加味逍遙散料
加味八疝湯	帰脾湯	芍帰調血飲	
芍帰調血飲第一加減		桂枝去桂加茯苓白朮湯	
桂枝人参湯	香砂養胃湯	香砂六君子湯	五積散料
五苓散料	柴芍六君子湯	柴苓湯	滋陰降火湯
滋陰至宝湯	四君子湯	十全大補湯	十味剉散料
逍遙散料	四苓湯	参苓白朮散料	清暑益気湯
清熱補気湯	喘四君子湯	銭氏白朮散料	托裏消毒飲
調中益気湯	当帰拈痛湯	導水茯苓湯	二朮湯
女神散料	人参湯	人参養栄湯	八珍湯
半夏白朮天麻湯	茯苓飲	茯苓沢瀉湯	附子理中湯
分消湯	防風通聖散料	補気健中湯	補中益気湯
補中治湿湯	味麦益気湯	明朗飲	六君子湯
苓姜朮甘湯	苓桂朮甘湯	連珠飲	(計56方剂)

蒼朮：痿証方	胃苓湯	越婢加朮湯	加味四物湯
甘草附子湯	祛風敗毒散料	桂枝加朮附湯	桂枝加苓朮附湯
桂枝芍藥知母湯	啓脾湯	香砂平胃散料	香砂養胃湯
五積散料	消風散料	舒筋立安湯	神効湯
真武湯	清湿化痰湯	清上蠲痛湯	清熱解鬱湯
疎經活血湯	大防風湯	沢瀉湯	治頭瘡一方
当歸芍藥散料	当歸拈痛湯	騰竜湯	二朮湯
半夏白朮天麻湯	附子湯	分消湯	平胃散料
防己黃耆湯	補氣健中湯	補中治湿湯	薏苡仁湯
抑肝散料	抑肝散加陳皮半夏	麗沢通氣湯	(計39方劑)

(副作用)

朮類生薬を主薬とする方劑の副作用報告はあまり見受けられないが、精油の臭いのため服用しづらい場合もある。

(参考文献)

- 1) 日本薬局方 第12改正 pp.559~562,806~811
- 2) 漢方製劑の知識(Ⅷ) 薬事日報社 ツムラ pp156~159
- 3) 薬草カラー図鑑1 伊沢一男 主婦の友社 pp.144
- 4) 和漢薬の良否鑑別法及び調整方 一色直太郎 谷口書店 pp.257
- 5) 現代東洋医学 Vol.5 No.2 pp43~59 (1984.4.)
Vol.16 No.2 pp86~105 (1995.4.)
- 6) 神農本草経 森立志 pp43
- 7) 薬徴 日本漢方医学研究所編 pp.253~257
- 8) 新古方薬囊 荒木性次 pp179~186
- 9) 漢薬の臨床応用 神戸中医学研究会 pp207,313
- 10) 北里研究所東洋医学総合研究所「漢方処方集」pp359,370

96,9,9, (文責：金 成俊)

2085

ツムラの生薬 **ビャクジュツ**

白朮「日本薬局方 ビャクジュツ」(薬価基準収載)

白朮に特有なにおいが強いものを使用しています。



原形

根及び周皮の大半を除いた根茎。円柱形または塊状で、くびれた節がある。外面は、周皮を除いた部分が淡灰黄白色、周皮が残る部分は灰褐色。繊維性で、折りにくい。白朮に特有なにおいがあり、味はわずかに苦い。

製品

根茎を破碎したものの。破碎面は淡灰黄白色で繊維性。刻みの状態でも、白朮に特有なにおいと味を保つ。



基原

オケラ *Atractylodes japonica* Koidzumi ex Kitamura (キク科 *Compositae*) の根茎

主な産地

韓国



調剤用刻み生薬 白朮 (日本薬局方)

ツムラの生薬 **ビャクジュツ**

日本標準商品分類番号	875100	取扱い上の注意	貯法 本品は天然物(生薬)の性質上、吸湿性があり、保存法がわるいと変質し易いので、低温で通気性の良い場所に保存して下さい。
承認番号等	(60AM)第349号(薬価基準収載)		
承認年月日	昭和60年3月8日		
商品名	一般的名称	ビャクジュツ	性状 原体 根及び周皮の大半を除いた根茎。円柱形または塊状で、くびれた節がある。外面は、周皮を除いた部分が淡灰黄白色、周皮が残る部分は灰褐色。繊維性で、折りにくい。白朮に特有なにおいがあり、味はわずかに苦い。 製品 根茎を破碎したもの。破碎面は淡灰黄白色で繊維性。刻みの状態でも、白朮に特有なにおいと味を保つ。
	販売名	ツムラの生薬 ビャクジュツ	
基原	オケラ <i>Atractylodes japonica</i> Koidzumi ex Kitamura (キク科 <i>Compositae</i>) の根茎		
主な産地	韓国		
効能・効果	漢方処方調剤に用いる。		
用法・用量	漢方処方調剤に用いる。		包装 500g 材質：アルミラミネートフィルム サイズ：タテ×ヨコ＝320×200(mm)

■参考

主要成分

セスキテルペノイド：attractylon, atractylenolide I、II、III など
 ポリアセチレン化合物：diacetyl-atractylodiol, (4E, 6E, 12E)-tetradecadiene-8, 10-diyne-1, 3-diol diacetate など
 水溶性成分：attractan A, B, C など

古典

原文：主利水也。故能治小便自利不利。旁治身煩疼。痰飲。失精。眩冒。下利。喜唾。(薬徴)
 訳：主として水分の偏在・代謝異常を治す。したがって、頻尿、多尿、あるいは小便の出にくいものを治す。また、身体の煩しい疼痛、痰、咳嗽、嘔吐など水毒(体液・水分の偏在)による症状、遺精、夢精、帽子をかぶっているように頭が重くめまいがするもの、下痢、唾をたびたび吐いたり、ダラダラと流すものなども治す。
 出典：「生薬ハンドブック」(山田・丁 監修, ツムラ 1995)

中医学

性味：甘・微苦、温
 薬能：補脾益気・燥湿利水

処方例

胃風湯、胃苓湯、茵陳五苓散、化食養脾湯、加味帰脾湯、加味逍遙散、加味逍遙散合四物湯、加味平胃散、帰脾湯、芎帰調血飲、芎帰調血飲第一加減、桂枝加朮附湯、桂枝加苓朮附湯、桂枝人参湯、啓脾湯、香砂平胃散、香砂六君子湯、香砂養胃散、五積散、五苓散、柴芍六君子湯、柴苓湯、滋陰降火湯、滋陰至宝湯、四君子湯、四苓湯、十全大補湯、消風散、逍遙散、秦艽防風湯、参苓白朮散、清暑益気湯、清上瀉痛湯、銭氏白朮散、疎経活血湯、治頭瘡一方、当帰散、当帰芍薬散、二朮湯、女神散、人参養榮湯、人参湯、八味逍遙散、半夏白朮天麻湯、不換金正気散、茯苓飲、茯苓飲加半夏、茯苓飲合半夏厚朴湯、茯苓沢瀉湯、分消湯、実脾飲、平胃散、防己黄耆湯、防風通聖散、補気建中湯、補中益気湯、薏苡仁湯、抑肝散、抑肝散加陳皮半夏、六君子湯、苓姜朮甘湯、苓桂朮甘湯

* ツムラの生薬(調剤用刻み生薬)に関するお問合わせ、および学術資料のご請求は、弊社医薬情報担当者、または最寄りの事業所へどうぞ。

製造・販売



株式会社ツムラ

〒102 東京都千代田区二番町12番地7 ☎03(3221)0001代

2056

ツムラの生薬 **ソウジュツ**

蒼朮「日本薬局方 ソウジュツ」(薬価基準収載)

綿状結晶が多くみられるものを使用しています。



原体

ひげ根や土砂を除いた充実した根茎。根茎はくびれのある棒状で、外面は暗灰褐色。蒼朮に特有なおいがあり、味はやや苦い。精油を多く含むものは、外面に白色の綿状結晶がみられる。

製品

根茎を破碎したもの。切面は淡黄褐色で、その中に黄褐色の斑点状の油点が見られる。表面は白色の綿状結晶に覆われる。刻みの状態でも、蒼朮に特有なおいと苦味を保つ。



基原

ホソバオケラ *Atractylodes lancea* De Candolle
(キク科 *Compositae*) の根茎

主な産地

中国：湖北省

調剤用刻み生薬 蒼朮 (日本薬局方)

ツムラの生薬 ソウジュツ

日本標準商品分類番号	875100	取扱い上の注意	貯法 本品は天然物(生薬)の性質上、吸湿性があり、保存法がわるいと変質し易いので、低温で通気性の良い場所に保存して下さい。	
承認番号等	(60AM)第333号(薬価基準記載)		性状	原体 ひげ根や土砂を除いた充実した根茎。根茎はくびれのある棒状で、外面は暗灰褐色。蒼朮に特有なにおいがあり、味はやや苦い。精油を多く含むものは、外面に白色の綿状結晶がみられる。
承認年月日	昭和60年3月8日			製品 根茎を破砕したもの。切面は淡黄褐色で、その中に黄褐色の斑点状の油点がみられる。表面は白色の綿状結晶に被われる。刻みの状態でも、蒼朮に特有なにおいと苦味を保つ。
商品名	一般的名称 ソウジュツ	包装		500g 材質：アルミニウム サイズ：タテ×ヨコ＝320×200(mm)
	販売名 ツムラの生薬 ソウジュツ			
基原	ホソバオケラ <i>Atractylodes lancea</i> De Candolle(キク科 <i>Compositae</i>)の根茎			
主な産地	中国：湖北省			
用法・用量	漢方処方調剤に用いる。			

■参考

主要成分

精油：hinesol, β -eudesmol, elemol, atractylodin など

薬理(基礎)

- 抗消化性潰瘍作用¹⁾²⁾
- 利胆作用³⁾⁴⁾
- 血糖降下作用⁵⁾
- 電解質代謝促進作用⁶⁾
- 性ホルモン作用⁷⁾
- 抗腫瘍作用⁸⁾
- 鎮痙作用⁹⁾¹⁰⁾
- 抗炎症作用¹¹⁾
- 中枢抑制作用¹²⁾
- 抗菌作用¹³⁾

※上記の作用などが動物実験等で確認されています。
「生薬ハンドブック」(山田・丁 監修, ツムラ1995)参照

文献

- 1)久保道徳, ら: 薬誌, 103, 442(1983); フレグランスジャーナル, 88, 48(1988)
- 2)野上真里, ら: 薬誌:105, 973, 978(1985); Chem. Pharm. Bull., 34, 3854(1986)
- 3)山原條二, ら: 生薬誌, 37, 17(1983)
- 4)Yamahara, J. et al.: J. Ethnopharmacol, 29, 341(1990)
- 5)江田昭英, ら: 日薬理誌, 67, 223(1971)
- 6)呂 向华, ら: 薬学学報, 13, 454(1966)
- 7)白杵 愨, ら: 和漢医薬学会誌, 4, 264(1987)
- 8)山口宣夫, ら: 第9回和漢医薬学会要旨集, p.24(1992)
- 9)小林 誠, ら: 和漢医薬学会誌, 6, 500(1989)
- 10)岩本真承, ら: 和漢医薬学会誌, 6, 342(1989)
- 11)布施信三, ら: 和漢医薬学会誌, 7, 363(1990)
- 12)小原條二, ら: 薬誌, 97, 873(1977)
- 13)黒柳正典, ら: 日本生薬学会第30年会講演要旨集, p24(1983)
- 14)出典: ツムラ「生薬ハンドブック」, (1995)

古典¹⁴⁾

原文：主利水也。故能治小便自利不利。旁治身煩疼。痰飲。失精。眩冒。下痢。喜睡。(薬徴)
訳：主として水分の代謝異常を治す。したがって、頻尿、多尿あるいは小便の出にくいものを治す。また、身体の煩わしい疼痛、水毒(体液の偏在)による症状(喘咳、嘔吐など)、遺精、夢精、帽子をかぶっているように頭が重くめまいがするもの、下痢、唾をたびたび吐いたり、ダラダラと流すものなどを治す。

中医学¹⁴⁾

性味：苦・辛、温
薬能：燥湿健脾・祛風湿

処方例

胃苓湯、茵陳五苓散、越婢加朮湯、加味帰脾湯、加味逍遙散、桂枝加朮附湯、桂枝人参湯、啓脾湯、香砂養胃湯、五積散、五苓散、柴苓湯、滋陰降火湯、四君子湯、十全大補湯、消風散、真武湯、清暑益氣湯、疎経活血湯、大防風湯、治頭瘡一方、当帰芍薬散、二朮湯、女神散、人参湯、茯苓飲、茯苓飲合半夏厚朴湯、平胃散、防己黄耆湯、補中益氣湯、薏苡仁湯、抑肝散、抑肝散加陳皮半夏、六君子湯、苓桂朮湯

※ツムラの生薬(調剤用刻み生薬)に関するお問合わせ、および学術資料のご請求は、弊社医薬情報担当者、または最寄りの事業所へどうぞ。





蒼朮



ATRACTYLODIS LANCEAE RHIZOMA (キク科)

監修：山田光胤[※] 村越 勇^{※※}

※ 皇風会山田医院 院長
※※ 千葉大学薬学部 教授

原植物

ホソバオケラ *Atractylodes lancea* DC.
 又はシナオケラ *A. chinensis* KOIDZUMI
 (キク科 Compositae)

産地 中国

中国で主に産するのは南蒼朮と北蒼朮である。南蒼朮の原植物はホソバオケラで、主に江蘇、安徽、河南、江西、湖北に分布し、生薬は湖北、安徽、河南を中心に産出される。以前は江蘇からも蒼朮(茅朮)を産出したが、現在はほとんど市場では見られない。日本に入っている佐渡蒼朮は本種である。北蒼朮の原植物であるシナオケラは、主に遼寧、河北、河南、山東、山西、陝西に分布し、生薬は河北、山西、陝西を中心に産出する。また、中国東北地区では、原植物がシヨソウジュツ *A. koreana* やオケラ *A. japonica* の蒼朮も産する。

薬用部位

根茎を使用する。

来歴

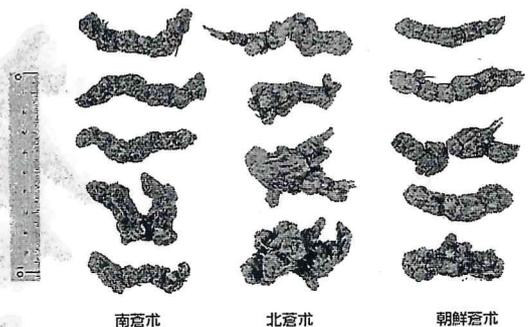
中国最古の本草書『神農本草経』には「朮」の名で記載されている。梁の時代の陶弘景により、赤朮(蒼朮)と白朮の区別がされた。しかし、どのようなものを赤朮、白朮としたかは明確ではない。時代が下るとともに、蒼朮と白朮は原植物、薬効、用法においての違いが明確にされ、別の生薬として認識されるようになってきた。

日本には蒼朮の原植物であるホソバオケラが江戸時代享保年間に中国からもたらされ、各地で栽植されるようになった。現在では新潟の佐渡に残存し、佐渡蒼朮の名で知られているが、市場性はない。江戸時代には蒼朮の他の原植物であるシナオケラ、シヨソウジュツ、白朮の原植物のオオバナオケラも導入されたが、ほとんど残らなかった。また、日本に自生するオケラも和蒼朮という名で市場にでることもあった。

選品

蒼朮は結節棒状(〜不整塊状)で、外面は暗灰褐色を呈し、横切面は分泌物による細点を認める。

その中で、切面が黄白色、油点が多数明瞭で、油分による潤いがあり、香りが強く、白色の綿状結晶を析出するものが良品である。



●カラー写真は、裏表紙にあります。

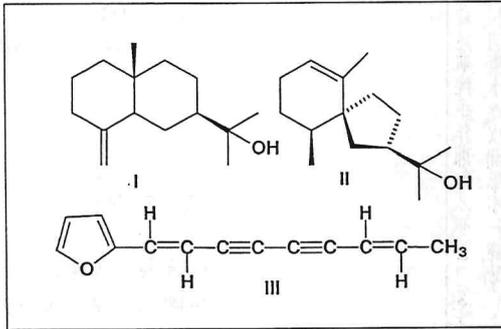
調製法

8月〜10月、地下部(根茎)を掘りあげ、根を取り去り、天日で乾燥させる。乾燥後もう一度残っている根を取って綺麗に仕上げる。

	南蒼朮(古立蒼朮)	北蒼朮	朝鮮蒼朮	関蒼朮
原植物	ホソバオケラ <i>Atractylodes lancea</i>	シナオケラ <i>Atractylodes chinensis</i>	シヨソウジュツ <i>Atractylodes koreana</i>	オケラ <i>Atractylodes japonica</i>
産地	湖北、安徽、河南	河北、山西、陝西	遼寧、吉林	黒竜江、吉林、遼寧
形状	結節棒状(〜不整塊状)	不整塊状(〜結節棒状)	結節棒状〜不整塊状	結節棒状〜不整塊状
内部形態	油室径大、繊維少、油分多、綿状結晶析出	油室径小、繊維多、油分少、綿状結晶不析出	油室径小、繊維多、油分少、綿状結晶不析出	油室径小、繊維最多、油分少、綿状結晶不析出
におい	強い	やや弱い	やや弱い	異質で強い
味	僅かに甘く、苦い	僅かに苦い	僅かに苦い	辛く、僅かに苦い
精油含量	多い	少ない	少ない	少ない
備考	精油含量が多く、綿状結晶が析出し、良品である			

成分

精油成分として、セスキテルペン類の β -eudesmol (I), hinesol (II) があり、その他 elemol, β -selinene などが存在する。また、ポリアセチレン系化合物である atractylodin (III), atractylodinol などを含有している。



薬理

- ・抗消化性潰瘍作用
- ・利胆作用
- ・血糖降下作用
- ・性ホルモン作用
- ・抗腫瘍作用
- ・鎮痙作用
- ・抗炎症作用
- ・酸素欠乏改善作用

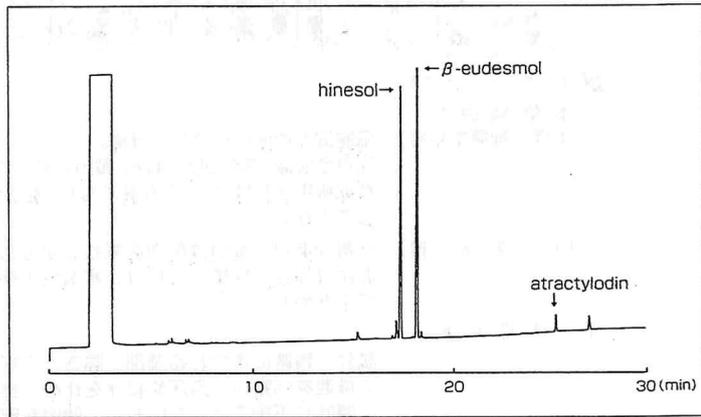
などが動物実験等で確認されています。
 『生薬ハンドブック』(山田・手塚修・ツマラ1991年)

GLC

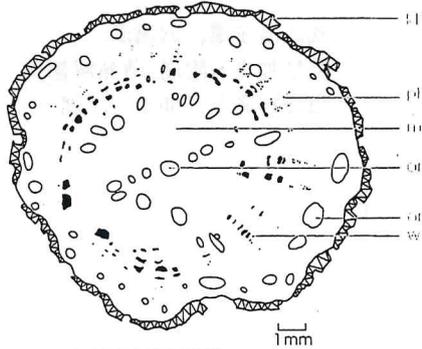
蒼朮の
 ガスクロマトグラフィー
 (GLC)

分析例

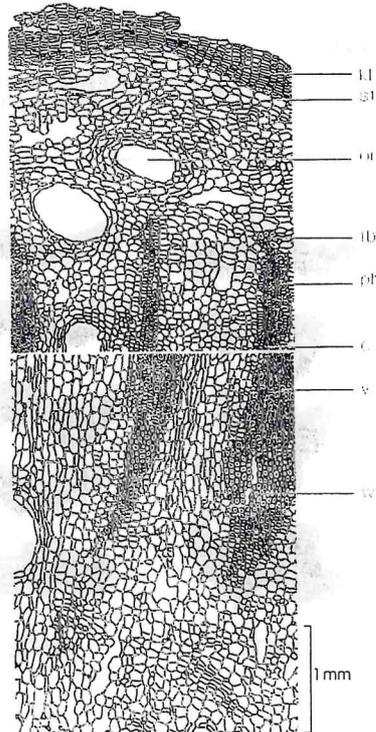
検出器：水素炎イオン化検出器
 カラム：キャピラリーカラム(強極性)
 カラム温度：120°→240°、24分
 キャリヤーガス：ヘリウム



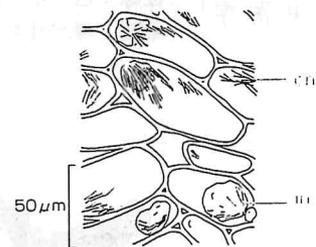
南蒼朮横切片模式図



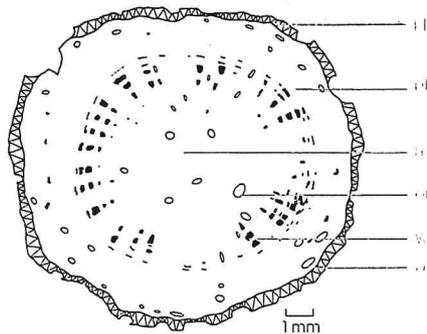
南蒼朮横切片組織解剖図



南蒼朮皮部柔組織解剖図



北蒼朮横切片模式図



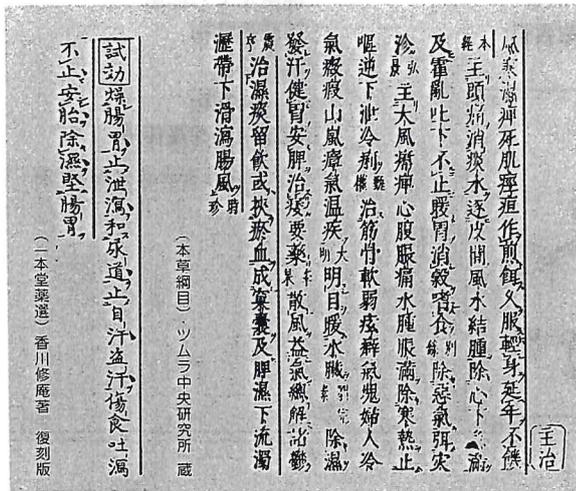
- c: 形成層
- cn: シュウ酸カルシウム針晶
- fb: 繊維束
- in: イヌリン球晶
- ii: コルク層
- m: 髄
- oi: 油室
- ph: 師部
- st: 石細胞
- v: 導管
- wl: 木部繊維

古 典

○薬性：苦、温（本草綱目）

○薬能：

氣味 苦温無毒



訳(上記のライン部分の訳)

[本 草 綱 目]

本経（神農本草経）

風寒湿が原因のしびれ・麻痺。知覚全麻痺、筋肉のけいれん、黄疸に煎じて服用する。長期服用すれば、からだが軽くなり、寿命が延び、饑えることがない。

時珍（李 時 珍）

水毒があり、或いは瘀血を兼ねる足のむくみ、膀胱および尿道の疾患、こしけ、水瀉性下痢、出血性大腸炎を治す。

[一 本 堂 薬 選]

試効 胃腸にまつわる湿部を除き、下痢を止め、尿の排泄を調整し、自汗やね汗を止め、食べすぎによる嘔吐や下痢の止らないもの。胎児を安定させ、流産を予防。水毒があり、或いは瘀血を兼ねる足のむくみ、膀胱および尿道の疾患、こしけ、水瀉性下痢、出血性大腸炎を治す。水分代謝の異常を除き、腸胃の働きを健全にする。

中 医 学

○性味：苦・辛、温

○薬能：燥湿健脾・去風湿

「漢薬の臨床応用」中山医学院 編／神戸中医学研究会 訳・編 医歯薬出版(1979)

1日常用量

●2.0~4.0g

「経験・漢方処方分量集」
大塚敬節・矢数道明 監修
医道の日本社(1985)

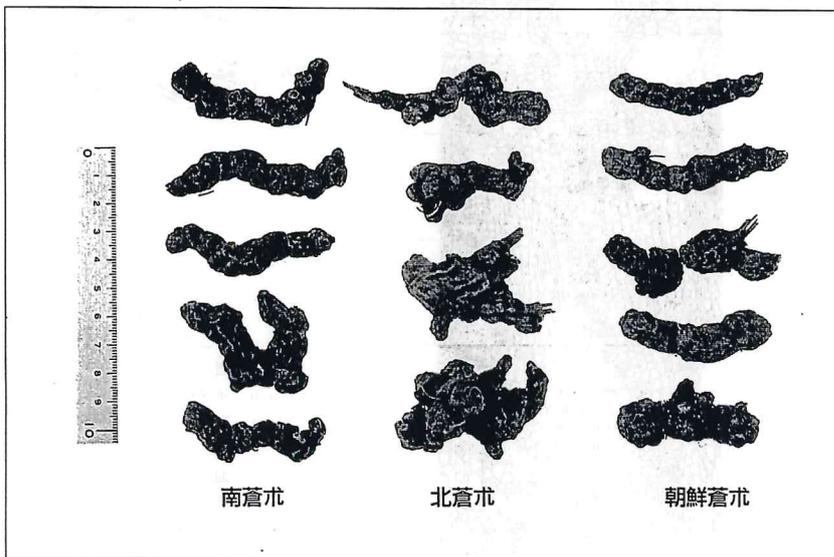
●3~9g

「漢薬の臨床応用」前出

処 方 例

胃苓湯、茵陳五苓散、
越婢加朮湯、加味帰脾湯、
加味逍遙散、桂枝加朮附湯、
桂枝人参湯、啓脾湯、五積散、
五苓散、柴苓湯、滋陰降火湯、
四君子湯、十全大補湯、
消風散、真武湯、清暑益気湯、
疎経活血湯、大防風湯、
治頭瘡一方、当帰芍薬散、
二朮湯、女神散、
人参湯、茯苓飲、
茯苓飲合半夏厚朴湯、平胃散、
防己黄耆湯、補中益気湯、
薏苡仁湯、抑肝散、
抑肝散加陈皮半夏、六君子湯、
苓桂朮甘湯

喘四君子湯、沢瀉湯、
桂枝加朮苓附湯、清熱解鬱湯、
当帰拈痛湯、補中治湿湯



南蒼朮

北蒼朮

朝鮮蒼朮



株式会社 ツツミ

●〒102 東京都千代田区二番町12番地 TEL 03(3221)0001(代)

生薬ノート2056
102.HN.41